

1. 件名：新型転換炉原型炉ふげんの使用済燃料の搬出計画に係る面談
2. 日時：令和6年1月18日（木）13時30分～14時40分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門
栗崎企画調査官、真田主任安全審査官、上野管理官補佐、大島原子力規制専門員
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
敦賀廃止措置実証本部 副本部長 他3名
新型転換炉原型炉ふげん 安全・品質保証部 部長 他2名
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他3名
5. 要旨
 - 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構から新型転換炉原型炉ふげんの使用済燃料の搬出計画について、搬出完了時期を令和8年度から令和13年度に変更し、廃止措置計画の軽微な変更として届け出ることを計画しているとの説明があった。
また、核燃料サイクル工学研究所再処理施設には、ふげんの使用済燃料を保管していることから、同施設の廃止措置計画についても、同様に使用済燃料の搬出完了時期を軽微な変更として届け出ることを計画しているとの説明があった。
 - 原子力規制庁は、説明内容について了解した旨を伝えた。
6. 配付資料
 - 資料1 新型転換炉原型炉ふげんの使用済燃料の搬出計画の見直しについて